

日興・GS 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第237期（決算日 2023年2月15日） 第239期（決算日 2023年4月17日） 第241期（決算日 2023年6月15日）
第238期（決算日 2023年3月15日） 第240期（決算日 2023年5月15日） 第242期（決算日 2023年7月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「日興・GS 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）」は、2023年7月18日に第242期の決算を行ないましたので、第237期から第242期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託の受益証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への直接投資は行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<952346>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額	
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰					中 率
	円		円		%		%	%	百万円	
213期(2021年2月15日)	4,989		20		0.0	196.85	0.3	—	98.3	3,898
214期(2021年3月15日)	5,015		20		0.9	199.03	1.1	—	98.4	3,886
215期(2021年4月15日)	4,978		20		△0.3	199.11	0.0	—	98.3	3,833
216期(2021年5月17日)	4,968		20		0.2	200.18	0.5	—	98.3	3,817
217期(2021年6月15日)	5,035		20		1.8	203.49	1.7	—	98.4	3,855
218期(2021年7月15日)	4,996		20		△0.4	202.69	△0.4	—	98.3	3,815
219期(2021年8月16日)	5,000		20		0.5	203.70	0.5	—	98.4	3,808
220期(2021年9月15日)	4,985		20		0.1	203.07	△0.3	—	98.4	3,786
221期(2021年10月15日)	5,034		20		1.4	205.93	1.4	—	98.4	3,812
222期(2021年11月15日)	5,016		10		△0.2	205.28	△0.3	—	98.3	3,784
223期(2021年12月15日)	4,977		10		△0.6	204.88	△0.2	—	98.3	3,746
224期(2022年1月17日)	4,870		10		△1.9	202.12	△1.3	—	98.3	3,635
225期(2022年2月15日)	4,745		10		△2.4	198.83	△1.6	—	98.3	3,522
226期(2022年3月15日)	4,769		10		0.7	198.36	△0.2	—	98.3	3,531
227期(2022年4月15日)	4,895		10		2.9	203.29	2.5	—	98.3	3,616
228期(2022年5月16日)	4,869		10		△0.3	202.67	△0.3	—	98.3	3,578
229期(2022年6月15日)	4,840		10		△0.4	201.06	△0.8	—	98.3	3,544
230期(2022年7月15日)	5,043		10		4.4	211.49	5.2	—	98.3	3,683
231期(2022年8月15日)	4,934		10		△2.0	207.71	△1.8	—	98.3	3,596
232期(2022年9月15日)	5,016		10		1.9	210.34	1.3	—	98.3	3,626
233期(2022年10月17日)	4,905		10		△2.0	207.24	△1.5	—	98.3	3,540
234期(2022年11月15日)	4,785		10		△2.2	204.92	△1.1	—	98.3	3,424
235期(2022年12月15日)	4,811		10		0.8	204.51	△0.2	—	98.3	3,431
236期(2023年1月16日)	4,521		10		△5.8	194.01	△5.1	—	98.3	3,223
237期(2023年2月15日)	4,637		10		2.8	198.56	2.3	—	98.4	3,272
238期(2023年3月15日)	4,686		5		1.2	201.19	1.3	—	98.4	3,293
239期(2023年4月17日)	4,713		5		0.7	203.58	1.2	—	98.3	3,293
240期(2023年5月15日)	4,778		5		1.5	206.57	1.5	—	98.3	3,331
241期(2023年6月15日)	4,883		5		2.3	209.90	1.6	—	98.4	3,331
242期(2023年7月18日)	4,910		5		0.7	212.76	1.4	—	98.3	3,309

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、設定時を100として2023年7月18日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

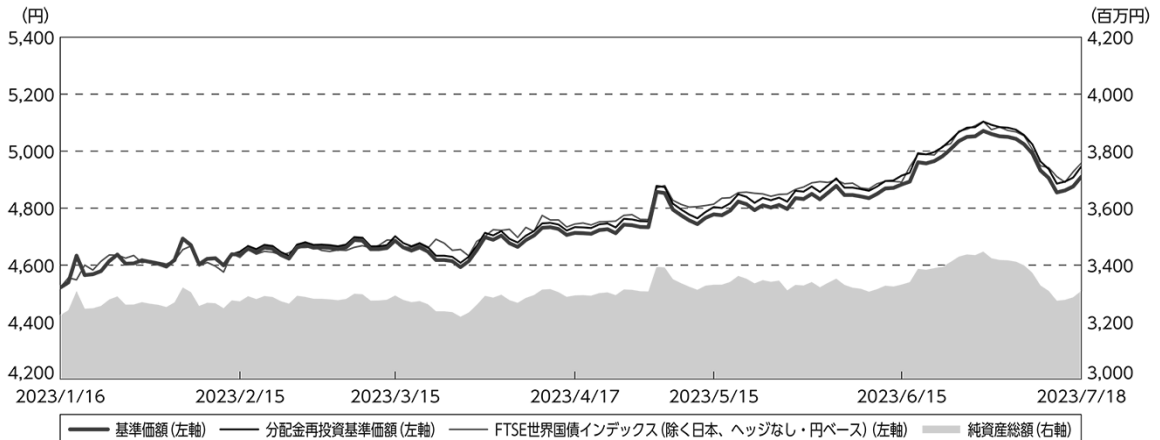
決算期	年 月 日	基準 価 額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		投資信託 証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
第237期	(期首) 2023年1月16日	円 4,521	% —	194.01	% —	% 98.3
	1月末	4,611	2.0	198.07	2.1	98.4
	(期末) 2023年2月15日	4,647	2.8	198.56	2.3	98.4
第238期	(期首) 2023年2月15日	4,637	—	198.56	—	98.4
	2月末	4,670	0.7	200.06	0.8	98.3
	(期末) 2023年3月15日	4,691	1.2	201.19	1.3	98.4
第239期	(期首) 2023年3月15日	4,686	—	201.19	—	98.4
	3月末	4,698	0.3	201.75	0.3	98.4
	(期末) 2023年4月17日	4,718	0.7	203.58	1.2	98.3
第240期	(期首) 2023年4月17日	4,713	—	203.58	—	98.3
	4月末	4,733	0.4	204.27	0.3	98.3
	(期末) 2023年5月15日	4,783	1.5	206.57	1.5	98.3
第241期	(期首) 2023年5月15日	4,778	—	206.57	—	98.3
	5月末	4,850	1.5	209.79	1.6	98.3
	(期末) 2023年6月15日	4,888	2.3	209.90	1.6	98.4
第242期	(期首) 2023年6月15日	4,883	—	209.90	—	98.4
	6月末	5,060	3.6	217.80	3.8	98.3
	(期末) 2023年7月18日	4,915	0.7	212.76	1.4	98.3

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

（2023年1月17日～2023年7月18日）

作成期間中の基準価額等の推移



第237期首：4,521円

第242期末：4,910円（既払分配金（税込み）：35円）

騰落率：9.4%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額およびFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、作成期首（2023年1月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界先進国の信用度の高いソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・債券国別配分戦略がプラスに寄与したこと。
- ・資産間配分戦略がプラスに寄与したこと。
- ・外国為替市場において各国の通貨に対し日本円が値下がりしたこと。

＜値下がり要因＞

- ・債券利回りの上昇（債券価格は下落）により債券価格が下落したこと。
- ・通貨配分戦略がマイナスに影響したこと。

投資環境

（海外債券市況）

期間中は、米国の10年国債利回りをはじめ、欧州においても英国やドイツ、フランス、イタリアなどの主要国では利回りが上昇しました。しかしインフレ率に対して長期金利が依然として低い状態にあり、インフレの長期化が懸念されることから各国の中央銀行は利上げを継続し、英国の10年国債利回りは4.4%近辺、ドイツの10年国債利回りは2.4%近辺と当該期間でも上昇しました。

期間の初めにおいて米国国債の利回りは、市場予想を上回ったことを受けて上昇が続きました。しかし、2023年3月上旬に米国の大手地方銀行、シリコンバレー銀行（SVB）が経営破綻したことを受けて金融不安が台頭し、世界的に国債利回りは下落（債券価格は上昇）しました。さらに金融不安を和らげるために米国連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを停止するとの観測が強まりました。FRBは5月に0.25%の利上げを実施しましたが、これが打ち止めと予想され、実際に6月の米国連邦公開市場委員会（FOMC）では利上げが見送られました。しかし政策金利の見通しが今後の利上げを予想する水準に引き上げられたことから、利上げ再開との予想も強く、期間末では、米国の10年国債利回りは3.8%近辺となりました。

日本においては、黒田東彦日銀前総裁が退任を目前にイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の上限値を0.5%まで拡大しました。さらに植田新総裁がイールドカーブ・コントロール政策の修正に入るのはないかという期待から長期金利が制限幅の上限値に達しました。その後、金融政策決定会合において現在の金融緩和策を維持すると発表したことから金利の上昇は沈静化し、期間末では日本の10年国債利回りは0.48%近辺となりました。

（国内短期金利市況）

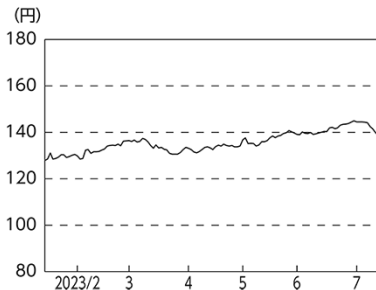
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.05%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.19%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.15%近辺で期間末を迎えました。

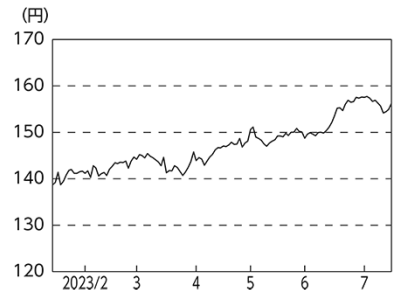
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券を高位に組み入れ、残余部分は「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券を中心に組み入れて運用を行ないました。

（世界ソブリン・ベビーファンド）

「世界ソブリン・ベビーファンド」は、「計量世界債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れ、信託財産の長期的な成長を図ることを目標としたファンドです。

「計量世界債券マザーファンド」では、以下のような運用がなされました。

①債券・円短期金融商品における資産間配分

債券と円短期金融商品における資産間配分では、弱気としました。期間中の資産間配分は本マザーファンドのパフォーマンスにプラス要因となったものと推定されます。

②債券国別配分

債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響はプラスであったものと推定されます。カナダに対して弱気、日本に対して強気としていたことがプラス要因となりましたが、英国に対して一時強気としたことがマイナス要因となりました。

③通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行ないます。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、米ドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、米ドルの配分を減らすということになります。

期間中の通貨配分戦略は本マザーファンドのパフォーマンスにマイナス要因となったものと推定されます。米国およびユーロに対して強気としていたことがプラス要因となった一方で、イギリスポンドおよびカナダドルに対して弱気としたことがマイナス要因となりました。

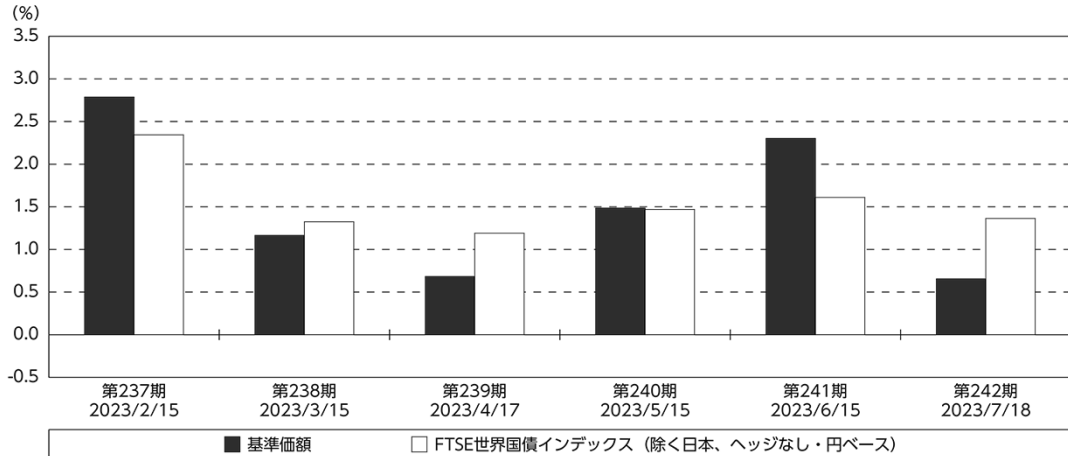
（マネー・オープン・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
 グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第237期	第238期	第239期	第240期	第241期	第242期
	2023年1月17日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年3月15日	2023年3月16日～ 2023年4月17日	2023年4月18日～ 2023年5月15日	2023年5月16日～ 2023年6月15日	2023年6月16日～ 2023年7月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.215%	5 0.107%	5 0.106%	5 0.105%	5 0.102%	5 0.102%
当期の収益	7	5	5	5	5	5
当期の収益以外	2	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	58	61	63	65	68	70

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、原則として「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券を高位に組み入れ、残余部分は「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券を中心に組み入れて運用を行ないます。

（世界ソブリン・ベビーファンド）

主として「計量世界債券マザーファンド」受益証券に投資し、原則として、その組入比率を高位に保ちます。これにより、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざします。

債券国別、通貨、資産間の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

①債券・円短期金融商品間における資産間配分

資産間配分では、円キャッシュに対し、モメンタムの観点から世界債券にやや弱気の見通しとしています。

②債券国別配分

債券国別配分においては、ドイツや日本に対して強気の見通しとする一方で、欧州各国や米国に対して弱気の見通しとしています。ドイツや日本に対してはマクロとモメンタムの観点から強気とする一方で、欧州各国に対してはモメンタムとバリューの観点から、米国に対してはマクロとモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

③通貨配分

通貨配分においては、米国と日本に強気の見通しとする一方で、スイスと英国に対して弱気の見通しとしています。米国に対してはモメンタムの観点から、日本に対してはバリューおよびモメンタムの観点から強気の見通しとする一方で、スイスに対してはファンドフローおよびバリューの観点から、英国に対してはバリューおよびモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・オープン・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年 1 月17日～2023年 7 月18日）

項 目	第237期～第242期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 11	% 0.221	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(2)	(0.044)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(8)	(0.160)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	11	0.223	
作成期間の平均基準価額は、4,770円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

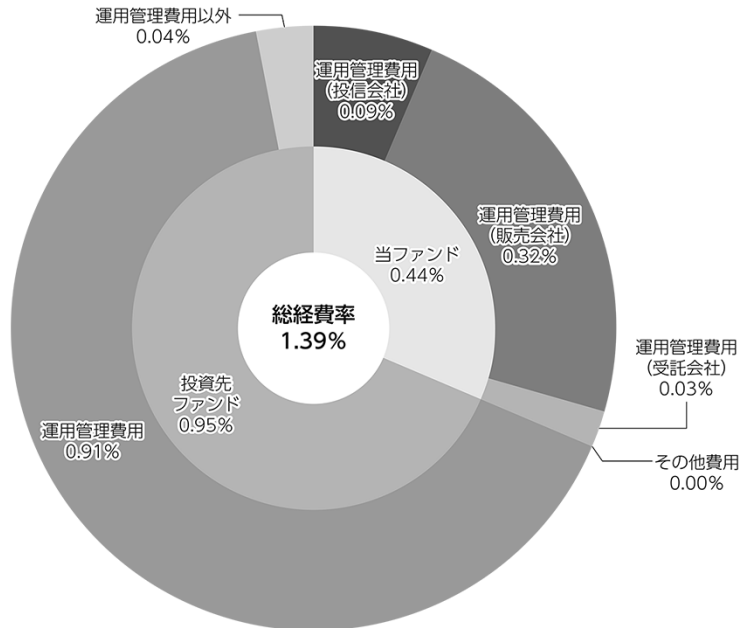
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.39%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.39
①当ファンドの費用の比率	0.44
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.91
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。ただし、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月17日～2023年7月18日)

投資信託証券

銘柄		第237期～第242期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	世界ソブリン・ベビーファンド	千口 59,656	千円 36,081	千口 367,525	千円 225,055

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第237期～第242期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・オープン・マザーファンド	千口 114	千円 116	千口 170	千円 172

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月17日～2023年7月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年1月17日～2023年7月18日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年1月17日～2023年7月18日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年7月18日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第236期末		第242期末	
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
世界ソブリン・ベビーファンド		5,492,772	5,184,903	3,254,045	98.3
合	計	5,492,772	5,184,903	3,254,045	98.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第236期末		第242期末	
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
マネー・オープン・マザーファンド		6,478	6,422	6,521	98.3

(注) 親投資信託の2023年7月18日現在の受益権総口数は、306,834千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年7月18日現在)

項	目	第242期末	
		評価額	比率
		千円	%
投資信託受益証券		3,254,045	98.2
マネー・オープン・マザーファンド		6,521	0.2
コール・ローン等、その他		54,342	1.6
投資信託財産総額		3,314,908	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第237期末	第238期末	第239期末	第240期末	第241期末	第242期末
	2023年2月15日現在	2023年3月15日現在	2023年4月17日現在	2023年5月15日現在	2023年6月15日現在	2023年7月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,283,288,710	3,301,170,350	3,299,539,602	3,341,662,494	3,342,033,623	3,314,908,593
コール・ローン等	50,455,385	50,032,983	50,357,382	51,131,470	48,287,849	48,876,478
投資信託受益証券(評価額)	3,219,939,673	3,240,811,691	3,237,771,898	3,274,995,388	3,277,041,128	3,254,045,188
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	6,431,730	6,528,151	6,522,550	6,521,908	6,521,908	6,521,908
未収入金	6,461,922	3,797,525	4,887,772	9,013,728	10,182,738	5,465,019
(B) 負債	10,541,115	7,908,922	5,932,869	10,607,298	10,497,609	5,082,669
未払収益分配金	7,058,080	3,514,148	3,494,319	3,486,062	3,411,253	3,370,427
未払解約金	2,290,232	3,276,527	1,123,094	5,985,274	5,828,939	357,528
未払信託報酬	1,180,976	1,107,159	1,302,430	1,124,697	1,244,890	1,341,261
未払利息	28	26	12	25	89	52
その他未払費用	11,799	11,062	13,014	11,240	12,438	13,401
(C) 純資産総額(A－B)	3,272,747,595	3,293,261,428	3,293,606,733	3,331,055,196	3,331,536,014	3,309,825,924
元本	7,058,080,285	7,028,296,509	6,988,639,944	6,972,124,188	6,822,507,395	6,740,854,740
次期繰越損益金	△3,785,332,690	△3,735,035,081	△3,695,033,211	△3,641,068,992	△3,490,971,381	△3,431,028,816
(D) 受益権総口数	7,058,080,285口	7,028,296,509口	6,988,639,944口	6,972,124,188口	6,822,507,395口	6,740,854,740口
1万口当たり基準価額(C/D)	4.637円	4.686円	4.713円	4.778円	4.883円	4.910円

(注) 当ファンドの第237期首元本額は7,131,146,743円、第237～242期中追加設定元本額は40,244,987円、第237～242期中一部解約元本額は430,536,990円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第237期0.4637円、第238期0.4686円、第239期0.4713円、第240期0.4778円、第241期0.4883円、第242期0.4910円です。

(注) 2023年7月18日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,431,028,816円です。

○損益の状況

項 目	第237期	第238期	第239期	第240期	第241期	第242期
	2023年1月17日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年3月15日	2023年3月16日～ 2023年4月17日	2023年4月18日～ 2023年5月15日	2023年5月16日～ 2023年6月15日	2023年6月16日～ 2023年7月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	5,419,798	5,397,445	5,366,493	5,354,472	5,237,866	5,174,440
受取配当金	5,420,393	5,397,846	5,366,746	5,356,027	5,239,874	5,176,471
支払利息	△ 595	△ 401	△ 253	△ 1,555	△ 2,008	△ 2,031
(B) 有価証券売買損益	84,677,536	33,559,538	18,371,309	44,498,656	71,393,103	17,707,312
売買益	85,545,310	33,655,577	18,501,040	44,576,483	72,134,058	18,913,222
売買損	△ 867,774	△ 96,039	△ 129,731	△ 77,827	△ 740,955	△ 1,205,910
(C) 信託報酬等	△ 1,192,775	△ 1,118,221	△ 1,315,444	△ 1,135,999	△ 1,257,328	△ 1,354,662
(D) 当期損益金(A+B+C)	88,904,559	37,838,762	22,422,358	48,717,129	75,373,641	21,527,090
(E) 前期繰越損益金	△2,508,523,395	△2,411,244,648	△2,361,862,140	△2,335,642,713	△2,239,669,580	△2,140,419,126
(F) 追加信託差損益金	△1,358,655,774	△1,358,115,047	△1,352,099,110	△1,350,657,346	△1,323,264,189	△1,308,766,353
(配当等相当額)	(43,155,987)	(41,270,937)	(41,039,273)	(40,944,750)	(40,069,604)	(39,594,159)
(売買損益相当額)	(△1,401,811,761)	(△1,399,385,984)	(△1,393,138,383)	(△1,391,602,096)	(△1,363,333,793)	(△1,348,360,512)
(G) 計(D+E+F)	△3,778,274,610	△3,731,520,933	△3,691,538,892	△3,637,582,930	△3,487,560,128	△3,427,658,389
(H) 収益分配金	△ 7,058,080	△ 3,514,148	△ 3,494,319	△ 3,486,062	△ 3,411,253	△ 3,370,427
次期繰越損益金(G+H)	△3,785,332,690	△3,735,035,081	△3,695,033,211	△3,641,068,992	△3,490,971,381	△3,431,028,816
追加信託差損益金	△1,360,365,937	△1,358,115,047	△1,352,099,110	△1,350,657,346	△1,323,264,189	△1,308,766,353
(配当等相当額)	(41,445,824)	(41,270,937)	(41,039,273)	(40,944,750)	(40,069,604)	(39,594,159)
(売買損益相当額)	(△1,401,811,761)	(△1,399,385,984)	(△1,393,138,383)	(△1,391,602,096)	(△1,363,333,793)	(△1,348,360,512)
分配準備積立金	—	1,728,372	3,292,145	5,028,099	6,657,182	8,070,838
繰越損益金	△2,424,966,753	△2,378,648,406	△2,346,226,246	△2,295,439,745	△2,174,364,374	△2,130,333,301

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年1月17日～2023年7月18日)は以下の通りです。

項 目	2023年1月17日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年3月15日	2023年3月16日～ 2023年4月17日	2023年4月18日～ 2023年5月15日	2023年5月16日～ 2023年6月15日	2023年6月16日～ 2023年7月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	5,347,917円	5,242,520円	5,069,041円	5,232,262円	5,151,729円	4,867,889円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金繰戻後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	43,155,987円	41,270,937円	41,039,273円	40,944,750円	40,069,604円	39,594,159円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円	0円	1,717,423円	3,281,899円	4,916,706円	6,573,376円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	48,503,904円	46,513,457円	47,825,737円	49,458,911円	50,138,039円	51,035,424円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	68円	66円	68円	70円	73円	75円
g. 分配金	7,058,080円	3,514,148円	3,494,319円	3,486,062円	3,411,253円	3,370,427円
h. 分配金(1万円当たり)	10円	5円	5円	5円	5円	5円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第237期	第238期	第239期	第240期	第241期	第242期
1 万口当たり分配金（税込み）	10円	5円	5円	5円	5円	5円

○お知らせ

約款変更について

2023年1月17日から2023年7月18日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

世界ソブリン・
ベビーファンド

追加型投信／海外／債券

第242期末(2023年7月14日)	第237期～第242期		
基準価額	6,225円	騰落率	7.63%
純資産総額	3,459百万円	分配金合計	60円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	原則として無期限
運用方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの構築には、ゴールドマン・サックスが開発した計量モデルを使い、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施します。
主要投資対象	
本ファンド	計量世界債券マザーファンドの受益証券
計量世界債券マザーファンド	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨
運用方法・組入制限	①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。 ②本ファンド及びマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。 ・外貨建資産への投資については制限を設けません。 ・株式への投資割合は、信託財産の5%以下とします。
分配方針	原則として毎計算期末(毎月14日。休業日の場合は前営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

第237期(決算日2023年2月14日)
第238期(決算日2023年3月14日)
第239期(決算日2023年4月14日)
第240期(決算日2023年5月12日)
第241期(決算日2023年6月14日)
第242期(決算日2023年7月14日)

作成対象期間:2023年1月14日～2023年7月14日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「世界ソブリン・ベビーファンド」は、このたび、第237期～第242期の決算を行いました。本ファンドは、独自開発の計量運用モデルを用いて世界各国の債券、通貨に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先: 03-6437-6000(代表) | www.gsam.co.jp
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

■最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額 (分配落)	ベンチマーク		債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額		
			税引前 分配金	期中 騰落率				期中 騰落率	
		円	円	%	%	%	百万円		
①	213期(2021年2月12日)	6,155	10	△0.2	19,659	0.3	84.5	△51.5	4,132
	214期(2021年3月12日)	6,228	10	1.3	19,877	1.1	84.4	△64.0	4,138
	215期(2021年4月14日)	6,167	10	△0.8	19,885	0.0	85.4	△97.4	4,059
	216期(2021年5月14日)	6,164	10	0.1	19,991	0.5	85.8	△59.2	4,036
	217期(2021年6月14日)	6,281	10	2.1	20,322	1.7	86.8	△82.6	4,083
	218期(2021年7月14日)	6,269	10	△0.0	20,243	△0.4	87.5	△48.4	4,053
②	219期(2021年8月13日)	6,295	10	0.6	20,344	0.5	88.0	△4.3	4,048
	220期(2021年9月14日)	6,279	10	△0.1	20,281	△0.3	88.3	3.1	4,017
	221期(2021年10月14日)	6,295	10	0.4	20,566	1.4	88.4	△19.3	4,004
	222期(2021年11月12日)	6,344	10	0.9	20,501	△0.3	89.1	△18.2	4,014
	223期(2021年12月14日)	6,289	10	△0.7	20,461	△0.2	90.1	△12.3	3,964
	224期(2022年1月14日)	6,183	10	△1.5	20,186	△1.3	90.9	△23.4	3,860
③	225期(2022年2月14日)	6,018	10	△2.5	19,857	△1.6	91.3	△26.0	3,736
	226期(2022年3月14日)	6,071	10	1.0	19,810	△0.2	83.7	△11.3	3,750
	227期(2022年4月14日)	6,233	10	2.8	20,303	2.5	82.3	△21.8	3,835
	228期(2022年5月13日)	6,164	10	△0.9	20,241	△0.3	82.1	△14.8	3,778
	229期(2022年6月14日)	6,137	10	△0.3	20,080	△0.8	81.5	△43.3	3,737
	230期(2022年7月14日)	6,399	10	4.4	21,121	5.2	82.4	△23.6	3,880
④	231期(2022年8月12日)	6,297	10	△1.4	20,744	△1.8	82.6	△9.6	3,798
	232期(2022年9月14日)	6,434	10	2.3	21,006	1.3	81.7	△29.9	3,846
	233期(2022年10月14日)	6,247	10	△2.8	20,697	△1.5	80.5	△11.1	3,723
	234期(2022年11月14日)	6,080	10	△2.5	20,465	△1.1	81.9	△27.4	3,592
	235期(2022年12月14日)	6,126	10	0.9	20,425	△0.2	83.1	△26.6	3,601
	236期(2023年1月13日)	5,841	10	△4.5	19,376	△5.1	83.3	△21.7	3,432
⑤	237期(2023年2月14日)	5,916	10	1.5	19,830	2.3	83.0	△29.4	3,438
	238期(2023年3月14日)	5,949	10	0.7	20,093	1.3	84.2	△12.6	3,446
	239期(2023年4月14日)	6,007	10	1.1	20,332	1.2	84.7	4.2	3,454
	240期(2023年5月12日)	6,084	10	1.4	20,630	1.5	84.7	22.4	3,495
	241期(2023年6月14日)	6,220	10	2.4	20,963	1.6	85.1	△3.0	3,496
	242期(2023年7月14日)	6,225	10	0.2	21,157	0.9	86.5	6.1	3,459

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ベンチマーク (FTSE世界国債インデックス(日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース))は、2003年3月27日(設定日)を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率は、実質比率を記載しております。

■過去6ヶ月間の基準価額と市況推移

決算期	年 月 日	基準価額		ベンチマーク		債 券 組入比率	債 券 先物比率
		円	騰落率	騰落率	騰落率		
第237期	(期 首)2023年1月13日	5,841	—	19,376	—	83.3	△21.7
	1月末	5,889	0.8	19,757	2.0	83.1	△28.0
	(期 末)2023年2月14日	5,926	1.5	19,830	2.3	83.0	△29.4
第238期	(期 首)2023年2月14日	5,916	—	19,830	—	83.0	△29.4
	2月末	5,971	0.9	19,991	0.8	82.6	△19.5
	(期 末)2023年3月14日	5,959	0.7	20,093	1.3	84.2	△12.6
第239期	(期 首)2023年3月14日	5,949	—	20,093	—	84.2	△12.6
	3月末	6,006	1.0	20,247	0.8	83.9	△4.9
	(期 末)2023年4月14日	6,017	1.1	20,332	1.2	84.7	4.2
第240期	(期 首)2023年4月14日	6,007	—	20,332	—	84.7	4.2
	4月末	6,050	0.7	20,874	2.7	83.9	4.2
	(期 末)2023年5月12日	6,094	1.4	20,630	1.5	84.7	22.4
第241期	(期 首)2023年5月12日	6,084	—	20,630	—	84.7	22.4
	5月末	6,201	1.9	20,969	1.6	84.6	7.3
	(期 末)2023年6月14日	6,230	2.4	20,963	1.6	85.1	△3.0
第242期	(期 首)2023年6月14日	6,220	—	20,963	—	85.1	△3.0
	6月末	6,473	4.1	21,790	3.9	85.5	△2.8
	(期 末)2023年7月14日	6,235	0.2	21,157	0.9	86.5	6.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

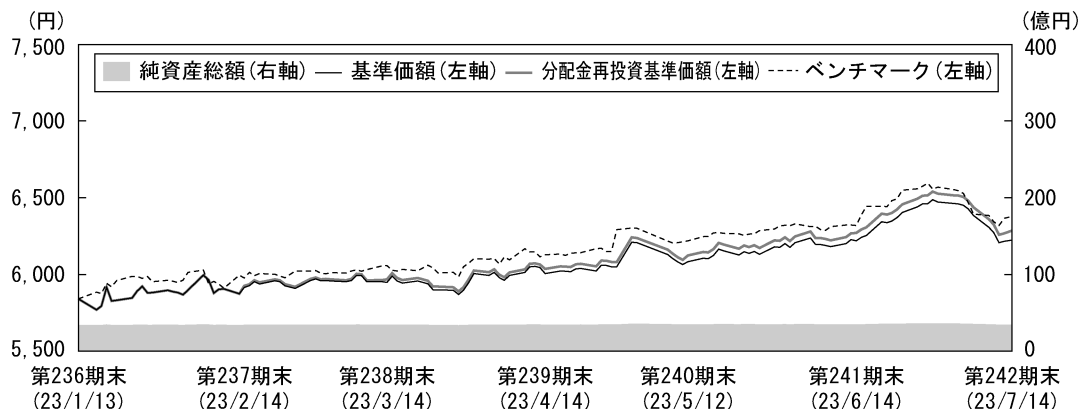
(注2) ベンチマーク (FTSE世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率は、実質比率を記載しております。

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2023年1月14日～2023年7月14日）



第237期首：5,841円

第242期末：6,225円

（当作成期中にお支払いした分配金：60円）

騰落率：+7.63%（分配金再投資ベース）

- (注1) ベンチマークはFTSE世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース）です。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の5,841円から384円上昇し、期末には6,225円となりました。

上昇要因

主要投資対象通貨である米ドルやユーロ、英ポンドなどが対円で上昇したことや、債券国別配分戦略と資産間配分戦略がプラスとなったことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米国や欧州主要国の国債利回りが総じて上昇（価格は下落）したことや、通貨配分戦略がマイナスとなったことなどが、基準価額の下落要因となりました。また、分配金をお支払いしたことも、基準価額の下落要因となりました。

■投資環境について

<外国債券市場>

当期は、主要先進国の10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

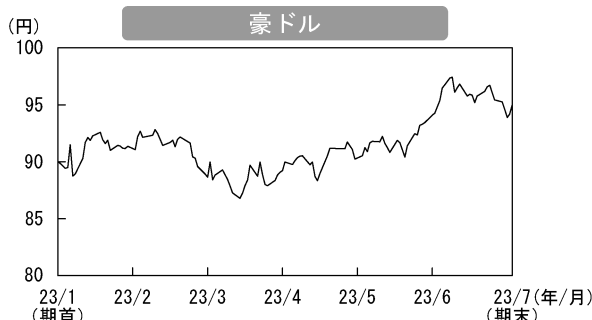
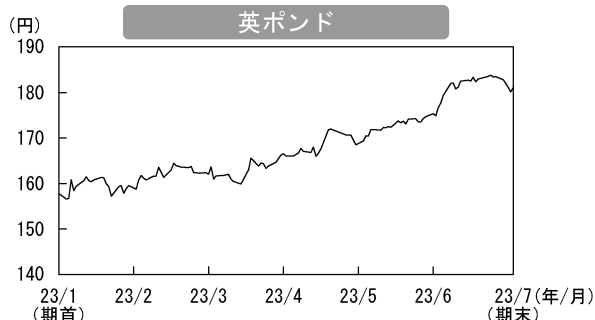
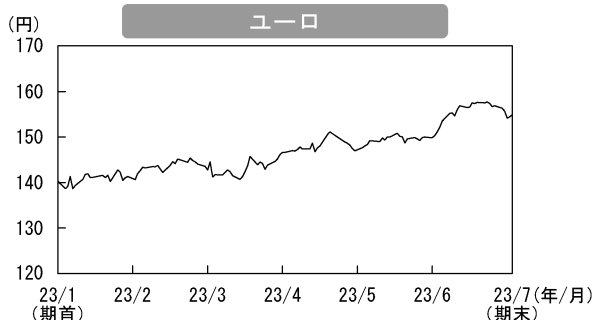
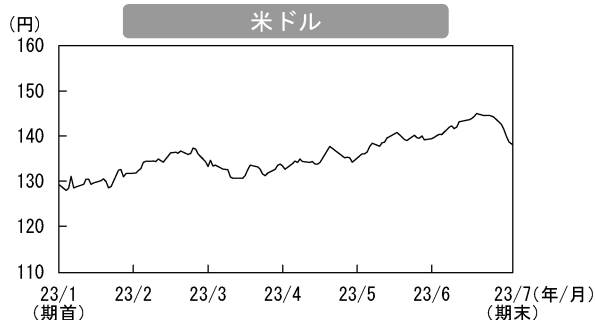
期の初めは米国債の利回りは複数の米経済指標が市場予想を上回ったことなどをを受けて上昇が続きました。しかし、3月上旬に米国の大手地方銀行が経営破綻したことを受けて金融不安が台頭し、世界的に国債利回りは低下しました。さらに金融不安を和らげるためにF R B（米連邦準備制度理事会）が利上げを停止するとの観測が強まりました。その後、F R Bは5月に0.25%の利上げを実施しましたが、これが打ち止めと予想され、実際に6月のF O M C（米連邦公開市場委員会）でF R Bは利上げを見送りました。しかし政策金利の見通しは今後の利上げを予想する水準に引き上げられたことから、利上げ再開を継続するとの予想も強く、期末では、米国10年国債利回りは3.8%近辺となりました。

しかし日本においては例外であり、黒田日銀前総裁が退任を目前にイールドカーブ・コントロールの上限値を0.5%まで拡大し、さらに植田新総裁がイールドカーブ・コントロール政策の修正に入るのではないかという期待から長期金利が制限幅の上限値に達したことはありましたが、金融政策決定会合において現在の金融緩和策を維持すると発表したことから金利の上昇は沈静化し、期末では日本10年国債利回りは0.47%近辺となりました。

<外国為替市場>

外国為替市場では、主要先進国通貨は円に対して総じて上昇しました。

○為替レート（対円）の推移



出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）

■ポートフォリオについて

<本ファンド>

計量世界債券マザーファンドの組入れを高位に維持することにより、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが開発した計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施しながら、世界各国の債券、通貨への投資を行いました。

<本マザーファンド>

ベンチマークの構成比率を基本資産配分比率としながら、市場見通しにより債券と通貨の資産配分を機動的に変更するアクティブ運用を行いました。

債券・円短期金融商品における資産間配分

当期における資産間配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響は、プラスであったものと推定されます。

債券国別配分

当期における債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響は、プラスであったものと推定されます。カナダに対して弱気、日本に対して強気としていたことがプラス要因となりましたが、英国に対して一時強気としたことがマイナス要因となりました。

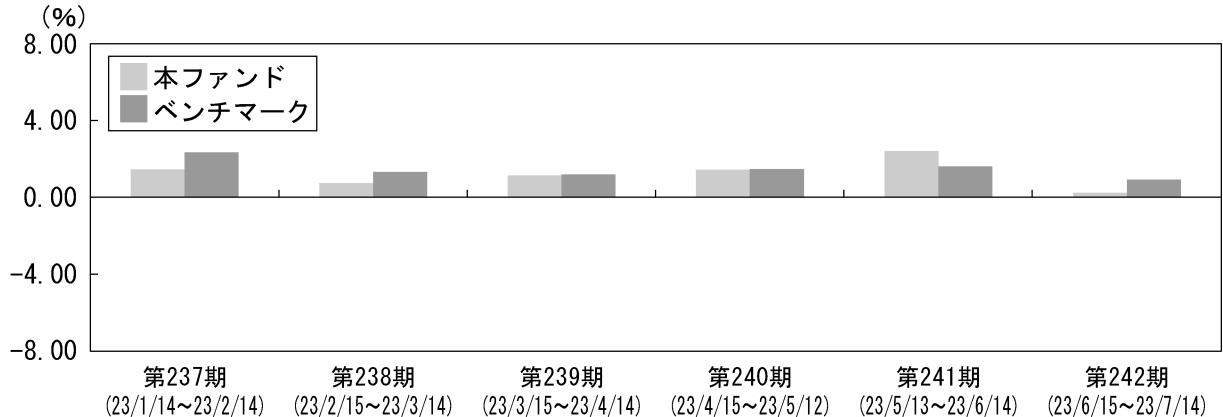
通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行います。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、米ドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、米ドルの配分を減らすということになります。

当期における通貨配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響は、マイナスであったものと推定されます。米国およびユーロに対して強気としたことがプラス要因となった一方で、英国およびカナダに対して弱気としていたことがマイナス要因となりました。

■ベンチマークとの差異について

<当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）>



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+7.63%となり、ベンチマーク（+9.19%）を下回りました。

当期においては、資産間配分や債券国別配分がプラス寄与となった一方、通貨配分はマイナス寄与となりました。

■分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第237期から第242期は各10円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き本マザーファンド受益証券の組入れを高位に維持し、世界各国の債券および通貨への投資を通じて、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目指していきます。

<本マザーファンド>

資産間、債券国別、通貨の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

債券・円短期金融商品における資産間配分

資産間配分では、世界債券にモメンタムの観点からやや弱気の見通しとしています。

債券国別配分

債券国別配分においては、ドイツや日本に対して強気の見通しとする一方で、欧州各国や米国に対して弱気の見通しとしています。ドイツと日本に対してはマクロとモメンタムの観点から強気とする一方で、欧州各国に対してはモメンタムとバリュアの観点から、米国に対してはマクロとモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

通貨配分

通貨配分においては、米国や日本に対して強気の見通しとする一方で、スイスや英国に対して弱気の見通しとしています。米国に対してはモメンタムの観点から、日本に対してはバリュアのおよびモメンタムの観点から強気の見通しとする一方で、スイスに対してはファンドフローおよびバリュアの観点から、英国に対してはバリュアおよびモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

(上記見通しは2023年7月14日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

本ファンドのデータ

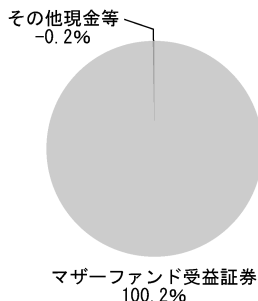
■本ファンドの組入資産の内容 (2023年7月14日現在)

○組入れファンド

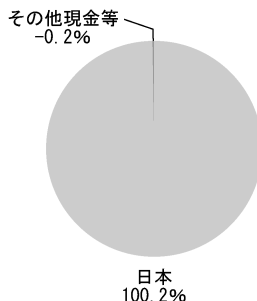
(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	比率
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	100.2%

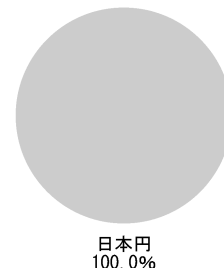
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

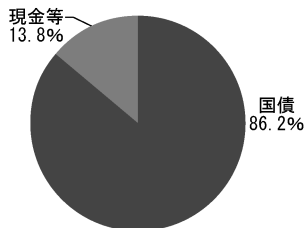


(注) 上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

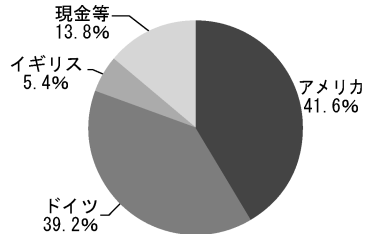
■組入上位ファンドの概要

計量世界債券マザーファンド（2023年7月14日現在）

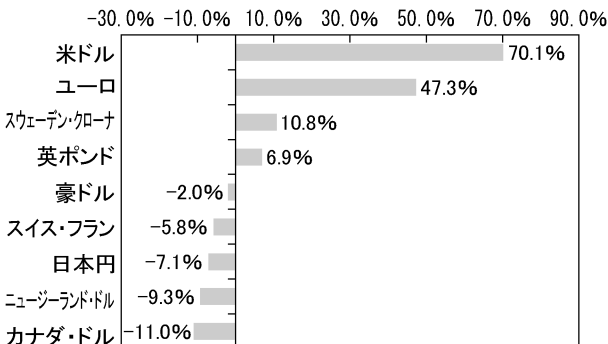
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：12銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	アメリカ国債 6.25% 2030年5月15日	国債	USD	14.9%
2	アメリカ国債 4.5% 2036年2月15日	国債	USD	14.4%
3	アメリカ国債 3% 2048年2月15日	国債	USD	12.3%
4	ドイツ国債 4.75% 2028年7月4日	国債	EUR	8.4%
5	ドイツ国債 6.25% 2030年1月4日	国債	EUR	7.9%
6	ドイツ国債 5.5% 2031年1月4日	国債	EUR	7.9%
7	ドイツ国債 4.75% 2034年7月4日	国債	EUR	7.7%
8	ドイツ国債 4% 2037年1月4日	国債	EUR	7.3%
9	イギリス国債 4.25% 2032年6月7日	国債	GBP	1.6%
10	イギリス国債 4.25% 2039年9月7日	国債	GBP	1.3%

(注1) 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位10銘柄のデータは組入れファンドの直近の決算日時点のものです。

(注2) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

■1万口当たりの費用明細

項目	第237期～第242期		項目の概要
	2023年1月14日～2023年7月14日		
	金額	比率	
信託報酬	28円	0.466%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(18)	(0.302)	
(販売会社)	(10)	(0.159)	
(受託会社)	(0)	(0.005)	
売買委託手数料	1	0.017	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	(1)	(0.013)	
(プライムブローカー)	(0)	(0.004)	
その他費用	1	0.020	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(保管費用)	(0)	(0.005)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(1)	(0.011)	
合計	30	0.503	

期中の平均基準価額は6,098円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2023年1月14日から2023年7月14日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第237期～第242期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	24,963	47,646	152,422	295,305

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年1月14日から2023年7月14日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細 (2023年7月14日現在)

親投資信託残高

種 類	第236期末	第242期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	1,868,151	1,740,692	3,467,633

■投資信託財産の構成

2023年7月14日現在

項 目	第242期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	3,467,633	99.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,465	0.2
投 資 信 託 財 産 総 額	3,473,098	100.0

(注1) 計量世界債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,223,501千円)の投資信託財産総額(3,591,893千円)に対する比率は89.7%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=138.04円、1カナダドル=105.25円、1ユーロ=154.89円、1英ポンド=181.07円、1オーストラリアドル=95.01円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第237期末	第238期末	第239期末	第240期末	第241期末	第242期末
	2023年2月14日	2023年3月14日	2023年4月14日	2023年5月12日	2023年6月14日	2023年7月14日
(A) 資 産	3,453,972,330円	3,458,246,289円	3,475,385,753円	3,511,302,989円	3,515,772,948円	3,473,098,349円
計量世界債券マザー ファンド(評価額)	3,447,510,409	3,454,448,765	3,462,938,946	3,503,326,351	3,505,590,211	3,467,633,330
未 収 入 金	6,461,921	3,797,524	12,446,807	7,976,638	10,182,737	5,465,019
(B) 負 債	15,166,947	12,132,127	20,998,262	16,292,966	18,839,464	13,812,155
未 払 収 益 分 配 金	5,813,097	5,792,452	5,750,561	5,744,130	5,621,900	5,557,136
未 払 解 約 金	6,461,921	3,797,524	12,446,807	7,976,638	10,182,737	5,465,019
未 払 信 託 報 酬	2,820,271	2,479,160	2,731,495	2,508,462	2,959,628	2,733,712
そ の 他 未 払 費 用	71,658	62,991	69,399	63,736	75,199	56,288
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,438,805,383	3,446,114,162	3,454,387,491	3,495,010,023	3,496,933,484	3,459,286,194
元 本	5,813,097,057	5,792,452,240	5,750,561,023	5,744,130,465	5,621,900,599	5,557,136,163
次 期 繰 越 損 益 金	△2,374,291,674	△2,346,338,078	△2,296,173,532	△2,249,120,442	△2,124,967,115	△2,097,849,969
(D) 受 益 権 総 口 数	5,813,097,057口	5,792,452,240口	5,750,561,023口	5,744,130,465口	5,621,900,599口	5,557,136,163口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,916円	5,949円	6,007円	6,084円	6,220円	6,225円

(注) 当作成期首元本額は5,876,771,469円、当作成期間(第237期～第242期)中において、追加設定元本額は79,220,734円、同解約元本額は398,856,040円です。

■ 損益の状況

項 目	第237期	第238期	第239期	第240期	第241期	第242期
	自2023年1月14日 至2023年2月14日	自2023年2月15日 至2023年3月14日	自2023年3月15日 至2023年4月14日	自2023年4月15日 至2023年5月12日	自2023年5月13日 至2023年6月14日	自2023年6月15日 至2023年7月14日
(A) 有価証券売買損益	51,817,291円	27,839,455円	41,747,430円	52,767,898円	84,887,212円	10,983,955円
売 買 益	52,269,310	28,164,794	42,221,581	52,986,361	86,226,799	12,422,940
売 買 損	△ 452,019	△ 325,339	△ 474,151	△ 218,463	△ 1,339,587	△ 1,438,985
(B) 信託報酬等	△ 2,891,929	△ 2,542,151	△ 2,800,894	△ 2,572,198	△ 3,034,827	△ 2,790,000
(C) 当期損益金(A+B)	48,925,362	25,297,304	38,946,536	50,195,700	81,852,385	8,193,955
(D) 前期繰越損益金	△ 994,029,582	△ 944,817,065	△ 917,078,721	△ 880,232,111	△ 815,674,649	△ 729,752,225
(E) 追加信託差損益金	△ 1,423,374,357	△ 1,421,025,865	△ 1,412,290,786	△ 1,413,339,901	△ 1,385,522,951	△ 1,370,734,563
(配当等相当額)	(33,279,608)	(33,321,148)	(33,193,630)	(33,340,695)	(32,822,383)	(32,577,354)
(売買損益相当額)	(△ 1,456,653,965)	(△ 1,454,347,013)	(△ 1,445,484,416)	(△ 1,446,680,596)	(△ 1,418,345,334)	(△ 1,403,311,917)
(F) 計 (C + D + E)	△ 2,368,478,577	△ 2,340,545,626	△ 2,290,422,971	△ 2,243,376,312	△ 2,119,345,215	△ 2,092,292,833
(G) 収益分配金	△ 5,813,097	△ 5,792,452	△ 5,750,561	△ 5,744,130	△ 5,621,900	△ 5,557,136
次期繰越損益金(F+G)	△ 2,374,291,674	△ 2,346,338,078	△ 2,296,173,532	△ 2,249,120,442	△ 2,124,967,115	△ 2,097,849,969
追加信託差損益金	△ 1,423,374,357	△ 1,421,025,865	△ 1,412,290,786	△ 1,413,339,901	△ 1,385,522,951	△ 1,370,734,563
(配当等相当額)	(33,297,856)	(33,348,382)	(33,211,163)	(33,369,889)	(32,856,243)	(32,592,486)
(売買損益相当額)	(△ 1,456,672,213)	(△ 1,454,374,247)	(△ 1,445,501,949)	(△ 1,446,709,790)	(△ 1,418,379,194)	(△ 1,403,327,049)
分配準備積立金	49,428,199	51,880,495	55,328,844	58,527,735	62,795,249	63,355,902
繰越損益金	△ 1,000,345,516	△ 977,192,708	△ 939,211,590	△ 894,308,276	△ 802,239,413	△ 790,471,308

(注1) 損益の状況の中で (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

■ 分配金のお知らせ

決 算 期	第237期	第238期	第239期	第240期	第241期	第242期
1 万口当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◇分配金につきましては、販売会社が、自動けいぞく投資契約（販売会社によっては名称が異なる場合もございます）に基づいて、ファンドへの再投資を行っております。

■ 分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第237期	第238期	第239期	第240期	第241期	第242期
	2023年1月14日 ～2023年2月14日	2023年2月15日 ～2023年3月14日	2023年3月15日 ～2023年4月14日	2023年4月15日 ～2023年5月12日	2023年5月13日 ～2023年6月14日	2023年6月15日 ～2023年7月14日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.169	0.168	0.166	0.164	0.161	0.160
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	142	147	153	159	170	172

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

計量世界債券 マザーファンド

親投資信託

第41期（決算日2023年7月14日）

作成対象期間:2023年1月14日～2023年7月14日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
法令・諸規則に基づき、親投資信託(マザーファンド)の
期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げ
ます。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	原則として無期限
運用方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの構築には、ゴールドマン・サックスが開発した計量モデルを使い、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施します。
主要投資対象	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨
組入制限	①外貨建資産への投資については制限を設けません。 ②株式への投資割合は、信託財産の5%以下とします。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先: 03-6437-6000(代表) | www.gsam.co.jp
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

■最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額		ベンチマーク		債 券 組入比率	債 券 先物比率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		期 中 騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
37期(2021年7月14日)	18,931	2.9	20,243	3.2	87.3	△48.3	4,062
38期(2022年1月14日)	18,943	0.1	20,186	△0.3	90.7	△23.3	3,869
39期(2022年7月14日)	19,889	5.0	21,121	4.6	82.2	△23.6	3,889
40期(2023年1月13日)	18,422	△7.4	19,376	△8.3	83.1	△21.7	3,441
41期(2023年7月14日)	19,921	8.1	21,157	9.2	86.2	6.1	3,467

(注1) ベンチマーク (F T S E世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基準価額		ベンチマーク		債 券 組入比率	債 券 先物比率
		騰落率		騰落率		
(期 首)	円	%		%	%	%
2023年1月13日	18,422	—	19,376	—	83.1	△21.7
1月末	18,582	0.9	19,757	2.0	83.1	△28.0
2月末	18,885	2.5	19,991	3.2	82.6	△19.5
3月末	19,043	3.4	20,247	4.5	83.9	△4.9
4月末	19,228	4.4	20,874	7.7	83.9	4.2
5月末	19,758	7.3	20,969	8.2	84.6	7.3
6月末	20,675	12.2	21,790	12.5	85.4	△2.8
(期 末)						
2023年7月14日	19,921	8.1	21,157	9.2	86.2	6.1

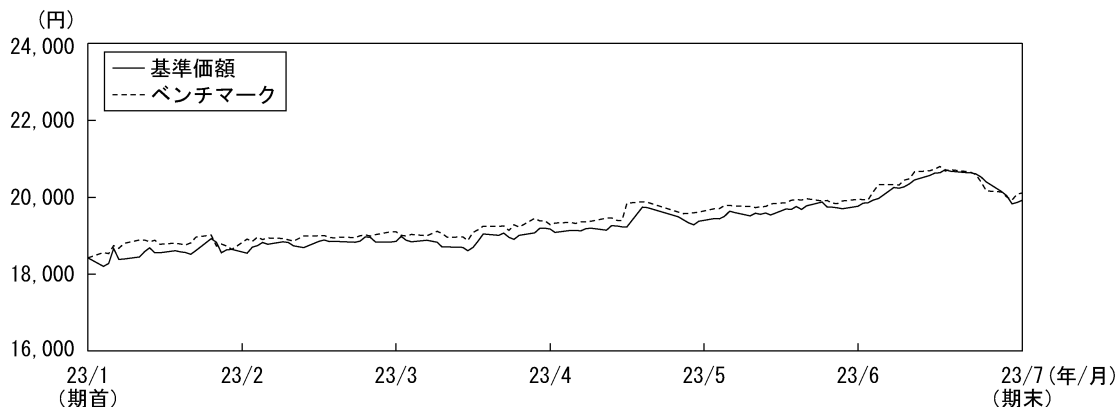
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) ベンチマーク (F T S E世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2023年1月14日～2023年7月14日）



(注1) ベンチマークはFTSE世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース）です。

(注2) ベンチマークは、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の18,422円から1,499円上昇し、期末には19,921円となりました。

上昇要因

主要投資対象通貨である米ドルやユーロ、英ポンドなどが対円で上昇したことや、債券国別配分戦略と資産間配分戦略がプラスとなったことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米国や欧州主要国の国債利回りが総じて上昇（価格は下落）したことや、通貨配分戦略がマイナスとなったことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■ 投資環境について

<外国債券市場>

当期は、主要先進国の10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

期の初めは米国債の利回りは複数の米経済指標が市場予想を上回ったことを受けて上昇が続きました。しかし、3月上旬に米国の大手地方銀行が経営破綻したことを受けて金融不安が台頭し、世界的に国債利回りは低下しました。さらに金融不安を和らげるためにFRB（米連邦準備制度理事会）が利上げを停止するとの観測が強まりました。その後、FRBは5月に0.25%の利上げを実施しましたが、これが打ち止めと予想され、実際に6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）でFRBは利上げを見送

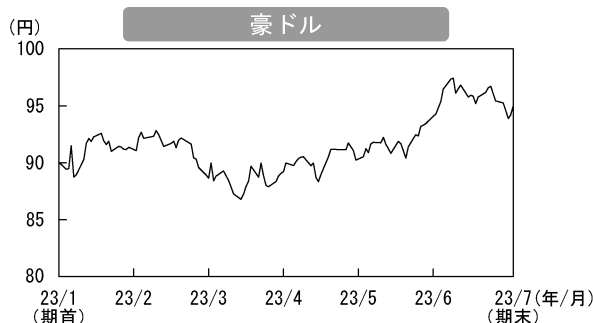
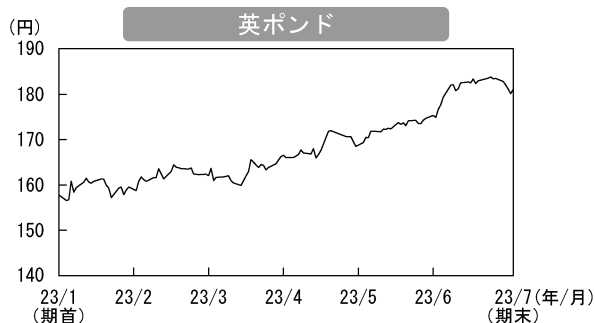
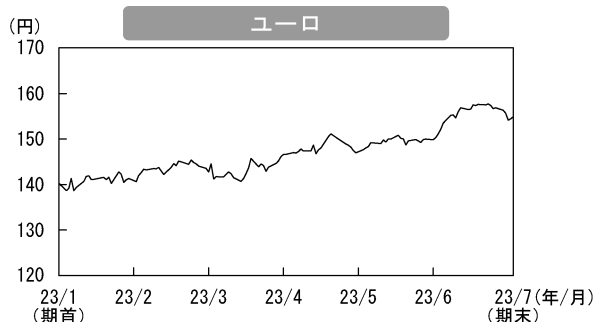
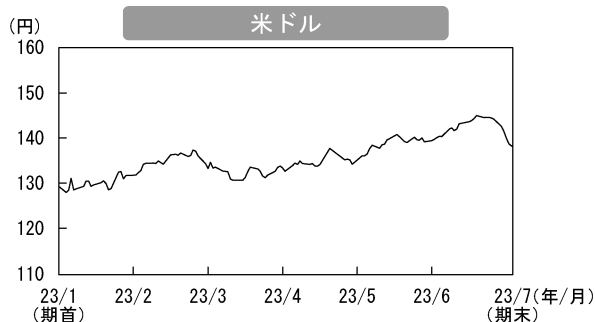
りました。しかし政策金利の見通しは今後の利上げを予想する水準に引き上げられたことから、利上げ再開を継続するとの予想も強く、期末では、米国10年国債利回りは3.8%近辺となりました。

しかし日本においては例外であり、黒田日銀前総裁が退任を目前にイールドカーブ・コントロールの上限値を0.5%まで拡大し、さらに植田新総裁がイールドカーブ・コントロール政策の修正に入るのではないかという期待から長期金利が制限幅の上限値に達したことはありましたが、金融政策決定会合において現在の金融緩和策を維持すると発表したことから金利の上昇は沈静化し、期末では日本10年国債利回りは0.47%近辺となりました。

<外国為替市場>

外国為替市場では、主要先進国通貨は円に対して総じて上昇しました。

○為替レート（対円）の推移



出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）

■ポートフォリオについて

ベンチマークの構成比率を基本資産配分比率としながら、市場見通しにより債券と通貨の資産配分を機動的に変更するアクティブ運用を行いました。

債券・円短期金融商品における資産間配分

当期における資産間配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響は、プラスであったものと推定されます。

債券国別配分

当期における債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響は、プラスであったものと推定されます。カナダに対して弱気、日本に対して強気としていたことがプラス要因となりましたが、英国に対して一時強気としたことがマイナス要因となりました。

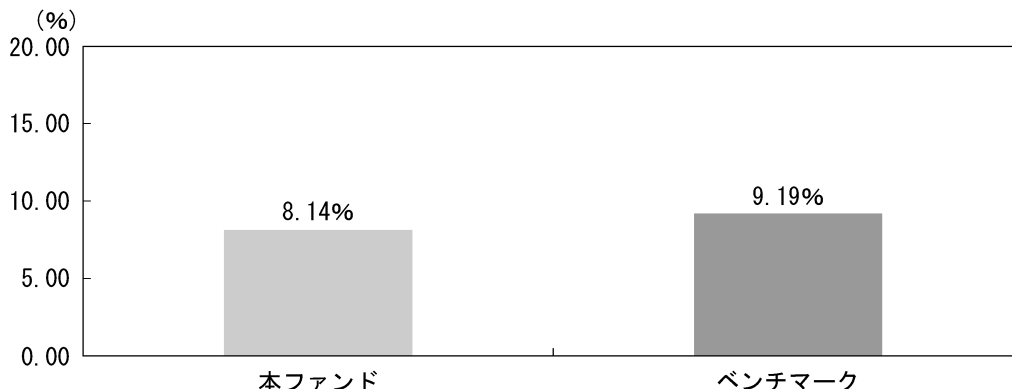
通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行います。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、米ドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、米ドルの配分を減らすということになります。

当期における通貨配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響は、マイナスであったものと推定されます。米国およびユーロに対して強気としたことがプラス要因となった一方で、英国およびカナダに対して弱気としていたことがマイナス要因となりました。

■ベンチマークとの差異について

<当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）>



当期の本ファンドのパフォーマンスは+8.14%となり、ベンチマーク（+9.19%）を下回りました。当期においては、資産間配分や債券国別配分がプラス寄与となった一方、通貨配分はマイナス寄与となりました。

今後の運用方針について

資産間、債券国別、通貨の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

債券・円短期金融商品における資産間配分

資産間配分では、世界債券にモメンタムの観点からやや弱気の見通しとしています。

債券国別配分

債券国別配分においては、ドイツや日本に対して強気の見通しとする一方で、欧州各国や米国に対して弱気の見通しとしています。ドイツと日本に対してはマクロとモメンタムの観点から強気とする一方で、欧州各国に対してはモメンタムとバリュウの観点から、米国に対してはマクロとモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

通貨配分

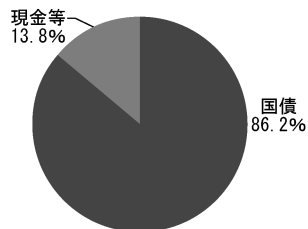
通貨配分においては、米国や日本に対して強気の見通しとする一方で、スイスや英国に対して弱気の見通しとしています。米国に対してはモメンタムの観点から、日本に対してはバリュウのおよびモメンタムの観点から強気の見通しとする一方で、スイスに対してはファンドフローおよびバリュウの観点から、英国に対してはバリュウおよびモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

(上記見通しは2023年7月14日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

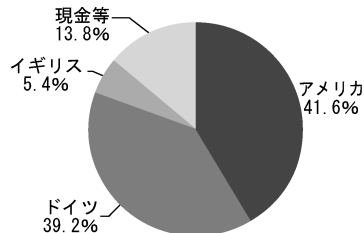
本ファンドのデータ

■本ファンドの組入資産の内容（2023年7月14日現在）

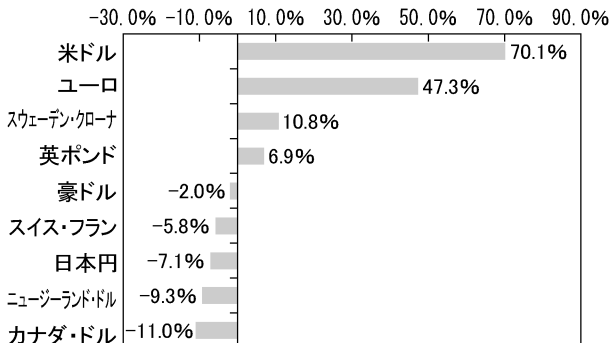
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：12銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	アメリカ国債 6.25% 2030年5月15日	国債	USD	14.9%
2	アメリカ国債 4.5% 2036年2月15日	国債	USD	14.4%
3	アメリカ国債 3% 2048年2月15日	国債	USD	12.3%
4	ドイツ国債 4.75% 2028年7月4日	国債	EUR	8.4%
5	ドイツ国債 6.25% 2030年1月4日	国債	EUR	7.9%
6	ドイツ国債 5.5% 2031年1月4日	国債	EUR	7.9%
7	ドイツ国債 4.75% 2034年7月4日	国債	EUR	7.7%
8	ドイツ国債 4% 2037年1月4日	国債	EUR	7.3%
9	イギリス国債 4.25% 2032年6月7日	国債	GBP	1.6%
10	イギリス国債 4.25% 2039年9月7日	国債	GBP	1.3%

(注) 上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023年1月14日～2023年7月14日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (先物・オプション) (プライムブローカー)	3円 (3) (1)	0.017% (0.013) (0.004)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (1)	0.008 (0.005) (0.003)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	5	0.025	

期中の平均基準価額は19,361円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況(2023年1月14日から2023年7月14日まで)

先物取引の銘柄別取引状況

			買 建		売 建	
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
国	債券先物取引	10年国債標準物	百万円 2,958	百万円 2,369	百万円 442	百万円 442
外	債券先物取引	米国国債先物10年	—	—	2,829	2,690
		カナダ国債先物10年	321	426	2,008	2,019
		オーストラリア国債先物10年	1,120	810	296	513
		英国国債先物10年	856	861	981	687
		イタリア国債先物10年	773	796	—	—
国	債券先物取引	ドイツ国債先物10年	—	—	3,340	3,214
		フランス国債先物10年	2,556	2,555	—	477

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 外国の取引金額は、各月中の取引額を当該月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■利害関係人との取引状況等(2023年1月14日から2023年7月14日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細(2023年7月14日現在)

(1) 公社債

A 債券種類別開示

外国(外貨建)公社債

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千米ドル 10,343	千米ドル 10,460	千円 1,443,972	% 41.6	% —	% 41.6	% —	% —
ユ ー ロ ド イ ツ	千ユーロ 7,446	千ユーロ 8,777	1,359,470	39.2	—	30.8	8.4	—
イ ギ リ ス	千英ポンド 1,102	千英ポンド 1,033	187,187	5.4	—	5.4	—	—
合 計	—	—	2,990,630	86.2	—	77.8	8.4	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

外国(外貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
国 債 証 券	(アメリカ)	%	千米ドル	千米ドル	千円		
	US TREASURY N/B 3%	3.0	3,713	3,101	428,133	2048/2/15	
	US TREASURY N/B 4.5%	4.5	3,346	3,615	499,121	2036/2/15	
	US TREASURY N/B 6.25%	6.25	3,284	3,743	516,717	2030/5/15	
小 計	—	—	—	1,443,972	—	—	
国 債 証 券	(ユーロ…ドイツ)		千ユーロ	千ユーロ			
	DEUTSCHLAND REP 4%	4.0	1,406	1,633	253,020	2037/1/4	
	DEUTSCHLAND REP 4.75%	4.75	1,708	1,881	291,457	2028/7/4	
	DEUTSCHLAND REP 4.75%	4.75	1,413	1,716	265,868	2034/7/4	
	DEUTSCHLAND REP 5.5%	5.5	1,468	1,769	274,107	2031/1/4	
	DEUTSCHLAND REP 6.25%	6.25	1,451	1,775	275,015	2030/1/4	
小 計	—	—	—	1,359,470	—	—	
国 債 証 券	(イギリス)		千英ポンド	千英ポンド			
	UK TREASURY 3.25%	3.25	286	232	42,160	2044/1/22	
	UK TREASURY 4.25%	4.25	302	300	54,349	2032/6/7	
	UK TREASURY 4.5%	4.5	246	243	44,021	2042/12/7	
	UK TSY 4 1/4% 2039 4.25%	4.25	268	257	46,656	2039/9/7	
小 計	—	—	—	187,187	—	—	
合 計	—	—	—	2,990,630	—	—	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
国 内		百万円	百万円
	10年国債標準物	883	—
外 国	イタリア国債先物10年	393	—
	ドイツ国債先物10年	—	370
	米国国債先物10年	—	780
	英国国債先物10年	—	428
	カナダ国債先物10年	166	—
	フランス国債先物10年	39	—
	オーストラリア国債先物10年	308	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) —印は組入れなし。

■投資信託財産の構成

2023年7月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	2,990,630	83.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	601,263	16.7
投 資 信 託 財 産 総 額	3,591,893	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産 (3,223,501千円) の投資信託財産総額 (3,591,893千円) に対する比率は89.7%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=138.04円、1カナダドル=105.25円、1ユーロ=154.89円、1英ポンド=181.07円、1オーストラリアドル=95.01円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2023年7月14日
(A) 資 産	12,033,248,447円
コール・ローン等	384,994,655
公社債（評価額）	2,990,630,346
未収入金	8,555,431,655
未収利息	40,465,283
差入委託証拠金	61,726,508
(B) 負 債	8,565,693,849
未払金	8,560,228,268
未払解約金	5,465,019
未払利息	562
(C) 純資産総額（A - B）	3,467,554,598
元 本	1,740,692,400
次期繰越損益金	1,726,862,198
(D) 受 益 権 総 口 数	1,740,692,400口
1万口当たり基準価額（C/D）	19,921円

■損益の状況

項 目	当 期
	自2023年1月14日 至2023年7月14日
(A) 配 当 等 収 益	63,547,784円
受 取 利 息	63,712,935
支 払 利 息	△ 165,151
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	143,451,748
売 買 益	487,848,700
売 買 損	△ 344,396,952
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	67,134,236
取 引 益	200,838,646
取 引 損	△ 133,704,410
(D) 信 託 報 酬 等	△ 431,220
(E) 当 期 損 益 金（A + B + C + D）	273,702,548
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	1,573,360,440
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	22,682,489
(H) 解 約 差 損 益 金	△ 142,883,279
(I) 計（E + F + G + H）	1,726,862,198
次 期 繰 越 損 益 金（I）	1,726,862,198

(注1) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益および (C) 先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で (H) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

(注4) 期首元本額は1,868,151,319円、当作成期間中において、追加設定元本額は24,963,517円、同解約元本額は152,422,436円です。

(注5) 元本の内訳 世界ソブリン・ベビーファンド

1,740,692,400円

マネー・オープン・マザーファンド

運用報告書

第20期（決算日 2023年 1月16日）
 (2022年 1月18日～2023年 1月16日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

ファンド概要

わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして安定運用を行いません。
 ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
16期(2019年1月15日)	円		%	%	百万円
	10,165		△0.1	—	131
17期(2020年1月15日)	10,162		△0.0	—	696
18期(2021年1月15日)	10,159		△0.0	—	521
19期(2022年1月17日)	10,158		△0.0	—	398
20期(2023年1月16日)	10,155		△0.0	—	316

(注) 元本の安全性を優先した運用を行なっているため、ベンチマークおよび適切な参考指数となる指標はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2022年1月17日	10,158		—
1月末	10,158		0.0
2月末	10,158		0.0
3月末	10,157		△0.0
4月末	10,157		△0.0
5月末	10,157		△0.0
6月末	10,157		△0.0
7月末	10,157		△0.0
8月末	10,157		△0.0
9月末	10,157		△0.0
10月末	10,156		△0.0
11月末	10,156		△0.0
12月末	10,155		△0.0
(期 末)			
2023年1月16日	10,155		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年1月18日～2023年1月16日)

基準価額の推移

期間の初め10,158円の基準価額は、期間末に10,155円となり、騰落率は $\Delta 0.0\%$ となりました。

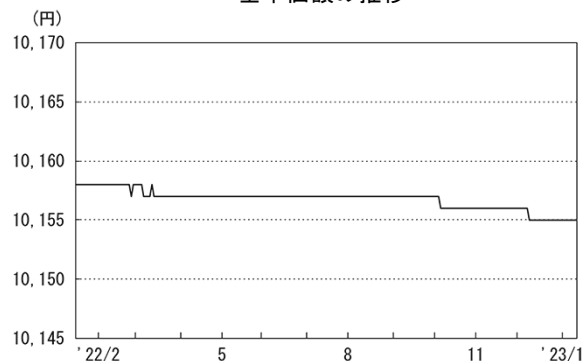
基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2022/01/17	2022/01/18	2022/12/09	2023/01/16
10,158円	10,158円	10,155円	10,155円

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの -0.03% 近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、 -0.03% 近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの -0.09% 近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、 -0.19% 近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2023年1月16日現在)

2023年1月16日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2023年1月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 316,785	% 100.0
投資信託財産総額	316,785	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	316,785,966
コール・ローン等	316,785,966
(B) 負債	708,828
未払解約金	708,627
未払利息	201
(C) 純資産総額(A-B)	316,077,138
元本	311,251,070
次期繰越損益金	4,826,068
(D) 受益権総口数	311,251,070口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,155円

(注) 当ファンドの期首元本額は392,661,920円、期中追加設定元本額は25,036,312円、期中一部解約元本額は106,447,162円です。

(注) 2023年1月16日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	161,056,339円
・グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	77,255,205円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドルコース)	13,234,116円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(トルコリラコース)	10,805,868円
・世界銀行債券ファンド(毎月分配型)	9,201,097円
・資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース	7,904,694円
・高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	6,525,990円
・日興・GS世界ソブリン・ファンド(毎月分配型)	6,478,429円
・グローバル3倍3分法(適格機関投資家専用)	5,692,365円
・資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース	2,653,229円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	2,474,477円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)	2,088,033円
・資源ファンド(株式と通貨)オーストラリアドル・コース	1,228,287円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型(米ドルコース)	1,188,936円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(インドルピーコース)	600,926円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(メキシコペソコース)	564,264円
・高金利先進国債券オープン(資産成長型)	558,277円
・グローバル3倍3分法オープン(適格機関投資家専用)	460,487円
・日興・世界ソブリン・ファンドVA(適格機関投資家転売制限付)	458,318円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(南アフリカランドコース)	428,256円
・上場インデックスファンド中国A株(ハンダ)E Fund CSI300	198,295円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(インドネシアルピアコース)	175,442円
・上場インデックスファンド海外債券(FISETWGBI)毎月分配型	19,740円

(注) 1口当たり純資産額は1.0155円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○損益の状況 (2022年1月18日～2023年1月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 82,862
支払利息	△ 82,862
(B) 当期損益金(A)	△ 82,862
(C) 前期繰越損益金	6,189,335
(D) 追加信託差損益金	392,589
(E) 解約差損益金	△1,672,994
(F) 計(B+C+D+E)	4,826,068
次期繰越損益金(F)	4,826,068

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2022年1月18日から2023年1月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。